

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス山麓わさび特産化プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓わさび生産組合 TEL 0261-62-3053
事業区分	農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	864,233 円 (うち支援金: 691,000 円)

事業内容

- 陸わさび採種・育苗技術確立プロジェクト
わさび栽培を行う上で、非常に難しい技術を必要とする「採種」と「育苗」技術を確立するため、以下について取り組をした。
○品種・採種試験・育苗技術試験、現地検討会、生育調査
○研修会、現地講習会
○栽培・採種・育苗の手引きづくり。
- 陸わさび加工品開発プロジェクト
大北地域で行われるわさびは、茎や芋について、実需者と契約していることから規格に沿った出荷を行っているが、出荷規格外品となってしまう茎や葉、小芋を活用して、新たな加工品を地元加工業者と連携して開発、検討会をした



【育苗定植】

【目標・ねらい】

- 栽培面積の拡大 300a→330a
- 採種育苗技術の手引き作成
- 加工品の開発・検討

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- わさび苗の安定供給体制の整備による栽培面積が 300a→330a に拡大できた
- 北アルプス山麓地域の新たな加工品として地元加工業者と連携協力し3品(酒粕、しょうゆ漬け)の試作を実施し、商品化に向けて検討ができた。
- これまでの試験実証の調査結果に基づき栽培・採種・育苗技術マニュアルが作成し、会員を対象とする技術検討会での活用及び農業関係者が集まる研修会等でも配布し、新規会員の勧誘等にも活用。

※自己評価【A】

【理由】

- 3年間の集大成となる栽培・育苗・採種技術のマニュアルを作成し、会員の技術検討会及び抜粋を、農業関係者が集まる研修会で配布し新規会員の勧誘等にも活用。
- 商品開発は地元加工業者と協力し商品化できる3品を開発することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 遊休荒廃地から林地での陸わさび栽培に注目し陸わさびの推進による森林整備を行う。
- 林地での陸わさびの生産性向上の実証試験を行い手引きの作成を行う。
- 林地でのわさびを活用した新たな加工開発・体験を通じて森林再生への理解を地域に広める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある